

芸術療法

■ ITベンチャー企業「ソフトアップ」代表取締役社長

たかせ じゅんいち

高瀬潤一さん

元気な老後は、しっかりした脳から

「元気な老後は、しっかりした脳から」を理念に掲げて、大阪・堺市の高齢者通所介護施設「エントレリハ」(堺区甲斐町東3)が65歳以上の高齢者を対象に、今年1月から「芸術療法」の体験教室を開始した。絵画、陶芸などの作品を楽しく制作することで脳を活性化させ認知症を予防する。参加者の多くは初体験ながら、プロの芸術家の指導を受けて個性豊かに創作。支援する女性スタッフからも「作品の出来栄は予想以上。これからさらにレベルアップが期待できる」と評価するほどで今後、画期的な芸術療法の成果が医療・介護などの世界で注目を集めそうだ。

(文 京原廣行)

Text by Hiroyuki KYOHARA

リハビリを楽しめる施設に

エントレリハを運営しているのは、ITベンチャー企業「ソフトアップ」(大阪市中央区)。コンピュータープログラマーとして長年活躍してきた代表取締役社長、高瀬潤一さんが、超高齢社会へ向けて加速が進む日本では今後さらに増大する医療費や介護関連経費が大きな社会問題になると懸念し、昨年3月に開設した。

認知症予防の脳トレ・プログラムをはじめ、認知症や脳梗塞の後遺症回復に役立つ生体デバイス(機器・装置)の研究・開発、認知症予防のための関連商品や生活空間の開発などに乗り出している。

高瀬さんは人気テーマパーク「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)」のバビリオン制御システムなどを開発した。「USJのようにお年寄りでも誰もが楽しめる介護施設にしたい」との思いから、施設の名称を「エントレリハ」にしたという。「エンジョイ・トレーニング・リハビリテーション(機能回復の訓練を楽しむ)」の略だ。

要介護認定を受けている高齢者ら約50人を受け入れ、健康や体力維持・向上を目指すフィットネス、iPad(モバイル端末)を使って脳を活性化させるシステムなど、利用者それぞれに合ったプログラムを作成。介護福祉士や理学療法士、看護師ら専門スタッフが心身両面での指導・訓練に当たっている。

著名な仏教美術家らが賛同

絵画や粘土細工などの表現手段を用いて精神状態に働きかける治療法として確立した「芸術療法」。その歴史は古く、1940年代初頭に英国で始まったとされる。芸術活動に従事している人は右脳が発達しているという事実から、心理療法など様々な疾患の治療に利用されてきた。近年では認知症の予防や症状改善にも効果があると注目され始めたという。

同療法に着目した高瀬さんが思いついたのは、芸術・



丸山寿美さん

IT・介護を組み合わせた新しい芸術療法の開発だった。そこで約5年前に出会い、その作風に魅せられた神戸市在住の著名な女流仏教美術家、丸山寿美さん(79)に認知症予防プログラムのコラボレーションを提案した。

丸山さんは繊細な筆致と独特の色使いで観音菩薩像など仏画を描き続けてきたが、1995(平成7)年の阪神淡路大震災で自宅アトリエが全壊するなど大きな被害を受けたことから一時は筆を置くほどの痛手を受けた。しかし、犠牲者への慰霊の気持ちを作品に託そうと創作を再開。新たに地藏菩薩など立体的な陶仏の制作も始めた。

丸山さん自身も一時、東京・銀座に開設したアトリエで仏教美術塾を主宰した経験から芸術療法の効能を熟知していたため、高瀬さんの企画に賛同。約25年前から丸山さんに師事してきた愛弟子で絵画・造形作家、駒居秀隆さん(57)を体験教室の指導者として派遣した。

「日本全国に広めたい」

「粘土に触れるだけで、手から脳に良い刺激が伝わり活性化させる」という丸山さんの発案で、体験教室で最初に取り上げたのが陶芸だった。10人ほどの参加者はこれまで2回の教室で、こけし人形とだるま作りに挑戦。駒居さんの作品などを参考にしながら、粘土を練り上げて造形し、窯焼きしたうえで絵付けをしてきた。



駒居さん(中央右)から指導を受けながら、自作の陶芸だるまに筆を使って絵付けする参加者たち。駒居さんの左が高瀬さん = 3月28日、堺市堺区のエントレリハ

筆者はこれまで2度、体験教室を見学させてもらったが、驚いたのは全員が初挑戦とは思えないほど明るく、生き生きとした表情だったことだ。活発に意見を交わしながら懸命に造形や彩色に奮闘し「どれも個性溢れる秀作」(高瀬さん)に仕上がった。終了後、全作品を並べて全員で記念撮影するほど満足感に溢れていた。

指導に当たっている駒居さんは「私は基本的に作品には一切、手を加えない。個々のオリジナリティを尊重して最後の仕上げを手伝っただけ。ハードルの高い試みだが、これからは試行錯誤を繰り返しながら参加者の技術向上を図って行きたい」といい、今後はとっくり・ちょこ&カップ・ソーサー(受け皿)→絵皿→花瓶→郷土玩具へと、よりレベルの高い陶芸作りを計画している。

一方、「芸術療法を日本全国に広めたい」という高瀬さんは、周知のための第一弾として大阪・南港のインテックス大阪で4月16~18日に開かれた第21回高齢者・障害者の快適な生活を提案する総合福祉展「バリアフリー2015」に作品を出展。駒居さんも「作品の展示は今後、参加者の大きな励みになっただろう」と期待した。

最後に高瀬さんは「芸術療法を契機に高齢者の自立・就労支援を推進。近い将来には修了者から多くのアーティストを育成して、その芸術作品を広く世界に向けて販売していきたい」と熱く夢を語った。

全国当日配送で培ったノウハウを
リーズナブルにご提供いたします。

提供
業務

- ◎ 施設への納入代行および発送代行、また施設ご利用者の買い物代行
- ◎ 施設車輛の回送や車検代行、運転手派遣
- ◎ 大型電化製品や施設用品の設置等
- ◎ 各自治体への申請代行等(第三者が申請可能なものに限る)

認可：一般労働者派遣事業 般13-303682
貨物運送取扱事業者 第52424

新ダット・ジャパン株式会社
西日本営業部

大阪府大阪市北区堂島2-3-2 堂北ビル1階
☎(06)6345-5841
FAX(06)6345-5845
HP <http://www.dat.jp/>
拠点 大阪・東京・名古屋

DAT Japan